



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題  
アジア太平洋地域会長主題  
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」  
「変革のための 光となろう」  
「未来のために今、学びと気づきを！  
未来のために、自信を育み、真の喜びに出合う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)  
利根川 恵子 (川越)  
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題  
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」  
「心を尽くして YMCA のために」

今井 武彦 (東京むかで)  
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一  
副会長  
書記

## 2024年3月会報

強調 テーマ

\* CS・Green P \*  
(ワイズメネット)

会計 小原 武夫  
直前会長 峰 毅  
担当主事 押山 愛紀子

### ↑今月の聖句

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。

新約聖書 ヨハネによる福音書 13章 34-35節  
(小川 選)

司会

1. 開会点鐘 東京西クラブ 小川 圭一 会長 一同
2. ワイズソングと信条 一同
3. ゲストとビジター紹介 小川 圭一 会長 本川 悦子 会長
4. 今月の聖句朗読 東京世田谷 松井 直樹 君
5. 会食と歓談 一同
6. 子どもたちのサンタになって下さい 鈴木 佑輔 氏
7. ハッピーバースデー 3/18 渡邊 実帆さん 3/30 小原 武夫 君 3/21 吉田 明弘 君 3/31 大野 貞次 君
8. 結婚記念日 3/2 小原 武夫 夫妻 3/26 寺門 文雄 夫妻
9. ニコニコ献金
10. 諸報告
11. 閉会点鐘 本川 悦子 会長

### ※ 3月例会プログラム

とき 令和6年3月15日(金) 19:00~21:00

ところ 東京YMCA山手コミュニティーセンター

201号室

電話 03-3202-0321

2月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	2月16日(金)	2月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員	10名	切手	0g
	第2例会	1	メネット	0名	現金	24,000円
			メイキャップ	0名	累計切手	0g
			ゲスト	0名		
			ビジター	6名		
			合計	16名		
					2023~2024年度 自主献金については 今期もクラブからの 献金とします	2月 16,310円 年度計 63,443円

## 本日のメインプログラム

卓話者 鈴木 佑輔 氏

1980年生まれ。上智大学経済学部卒。JA全農勤務後、社会福祉法人世田谷ボランティア協会へ。東日本大震災の専門ボランティア派遣のコーディネーターや相談事業に携わる。近隣トラブルの相談を機に米・英でメディアエーションを学び2018年に東京メディアエーションセンターを設立し、近隣トラブルや家庭内不和のサポートに取り組んでいる。

第一子の時に育児休暇を一年間取得してイギリスに滞在。子育て支援コーディネーター（世田谷区）スクールソーシャルワーカー（板橋区）青少年交流センターのユースワーカー（世田谷）に従事。 コロナの際、経済的困窮家庭の支援をする中仲間たちとサンタクロースプロジェクトに取り組み始める。

## ※ 2月例会報告



今井武彦東新部・部長訪問：

東新部の進むべき道を考える

「ワイズは楽しい！面白い！を目指す」

今井武彦東新部長：

本日は部長及び役員が世田谷クラブ訪問に当たり、お迎えいただき感謝いたします。

ALL 東新部のもと、Zoom 活用し、「会長会」と「Y友広場」の組み合わせで！

新たなワイズ活動にチャレンジしましょう。

東新部の進むべき道について

世田谷クラブのブリテン、楽しみに見えています。オール東新部での活動から、各クラブのお話を。

問題点、2019年時点でワイズは衰退に、

存続を期待して、多様化へ

東新部の現状、アンケート、92名から73名へ東京多摩みなみ、東京町田スマイリングクラブが合併し多摩スマイリングクラブへ

コロナ禍の3年間で会員減少

クラブ役員の担い手が減少

部役員の方には原則続投をお願いして

アクティブなシニアを

会長会、ワイトモ広場

部役員とクラブ会長との意思疎通を図り

プロゴノリストの活用へ

ワイともワイズは楽しい面白い。毎月第2木曜日 Zoom で

アクティブなシニアへ Web 講習会

部大会開催はエネルギーが必要：持ち回りから→各クラブからメンバーを出し大会実行委員会を持ち開催へ

東新部の目指すもの：できる人ができる時に参加を

2月23 東新部・EMCセミナー開催。

部各役員からの感想

伊丹一之部書記：

世田谷クラブとはチャーターが同時期で、50周年記念事業も合同で盛大に出来たが。

貴クラブの解散話には、なんで一と、別のクラブへ転籍し、ワイズメンとして生涯サービスを。良い人生が送れるのでは。

石田幸次部会計：

クラブ解散にショックを受けています。

多摩スマイルのように。クラブ統合して新クラブを。

高齢化の波の中で、クラブ統合、転籍、が従来の考え方から。所属するクラブということにこだわらずにオール東新部、クラブを超えたクラブを。

同じようなテーマで集まれる人々が、集まれる場をゆるやかな形で活動を持続していく、ワイズの行き着く方向かなと。東新部は他の部より先行しているかと、一つの選択としての意見です。

比奈地康晴国際・交流事業主査：

所属する東京クラブの例会はセレモニアル、卓話者の話をお聞きするだけのシスティマティックな例会です。

話し合いの機会がある例会は宜しいのではないかと。

海外の会合にもよく出かけてきましたが、メンバーの参加が少ないのでは。積極的に参加される方々もいらっしゃるのですが。

深尾香子直前部長：

世田谷クラブさんが、在京Y's合同新年会を開催された時、オール東新部でと対応されたことが心に残ります。

クラブ解散などと言わないで頂きたいです。

## 今井部長：

世田谷クラブ解散の話を伺い、地道な活動を続けているクラブだからこそ、続けていたいただきたいと願っています。



## ※ 東京 YMCA にほんご学院

### スピーチコンテスト

2024年2月14日(水) 10:00~13:00

学生数は100人を超え、コンテスト出場者は「初中球の部」「中級の部」「上級の部」から13名が参加。それぞれの部から優秀賞が選ばれ、世田谷クラブ賞はキム・ソンジュンさん(韓国)に授与されました。

審査委員として小原が出席。 YMCA 日本語学院

(<https://tokyo.ymca.or.jp/japanese/>)

出場者の皆さん、テーマに沿って、日本語を誠に上手に話される方、チョットたどたどしい方、それでも皆さんしっかりと前を向き、良い姿勢でスピーチを。

指導された先生方のご苦労もいかばかりかと。

貴重なひと時を過ごすことができました。(小原 記)

## ※ YMCA NEWS

1. 輪島市より要請を受け、能登半島地震の復興支援として、東京YMCAは1月25日より輪島市町野町にある避難所(町野小学校・東陽中学校)の運営サポートを行っている。常駐スタッフ1名の他、約1週間交替でスタッフ2名ずつを派遣し、避難所の受付業務をはじめ、被災者の避難所生活をサポートする様々な業務にあたっている。当初2月末までを予定していたが、再要請を受けて3月末まで延長することになった。
2. 1月5日から開始した「能登半島地震緊急支援募金」は2月20日現在、6,528,388円が寄せられている。また、都内の各地域でこれまでに8回の街頭募金が実施され、計830,935円が集まった。これまでに募金を用いて電子レンジ、電気ポット、トースター、掃除機、清掃用品、スリッパ、下着などの支援物資を避難所に届けた他、募金は全国のYMCAが協力して展開する支援活動のために引き続き用いていく。
3. 2月4日、「山中湖センター100周年記念チャリティーボウリング大会」が、ボウリングサロン・ザプリンスパークタワー東京で開催され、午前の部、午後の部、合わせて21チーム、70名の参加があった。山中湖センター100周年募金委員が中心となり準備と運営を担い、良い交流の機会ともなった。益金は、山中湖センター100周年募金として用いる。なお、山中湖センター100周年募金は3月末を期限に受付を継続している。
4. 2月17日、会員部主催による「ソシアスフォーラム2023」が佐渡加奈子氏(認定NPO法人カタリバアダチベース拠点責任者/東京YMCA評議員)を講師に、山手センター及びオンラインで開催され、会員、リーダーOB OG、職員他、100名を超える参加があった。「今を生きる子ども、若者たち」をテーマに、困難を抱える10代の子どもの事例やカタリバの取り組みが紹介され、またYMCAとして何ができるのかを考える機会になった。また当日会場では、能登半島地震被災者支援として、石川県の物産品を販売した。

5. Y's×SDGs Youth Action2024に居場所として、外国にルーツのある子どもたちの日帰りお出かけプログラムで挑戦中。そのパイロットプログラムで、3月26日(火)に多摩動物園での活動を企画している。

6. 南センターで行っていた、野外教育の定例野外活動「おさんぼ」「冒険くらぶ」は今年度をもって終了することとなり、今後は山手センターの活動に統合することとなった。南センターでは、誰もが生き生きと共生できる社会のため、外国にルーツを持つ子どもたちの活動や、生きづらさを抱える若者の場として運営していく。

## 7. 今後の主な行事予定

- ・「職員就業礼拝」4月1日(オンライン)  
説教：古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)
- ・「ウクライナ支援報告会」4月16日(オンライン)
- ・「第33回チャリティーゴルフ大会」4月18日  
(PGM総成ゴルフクラブ)
- ・「東日本地区YMCA役員研修会」4月27日  
(オンライン)
- ・「高石ともや バングラデシュ支援チャリティーコンサート」4月29日(日本基督教団浅草教会)
- ・「第21回会員大会」5月25日(山手センター)

## 尊厳死 = 「尊厳」解散

クラブを人体に模すと、一人の人間として高齢となり、生命維持が困難な状態になった際の選択肢として、主に以下の選択が挙げられます。① 植物状態の寝たきり老人となり、死(解散)する自己決定の力を失くし、結論を出す事すら困難となり、右往左往する。② 延命に向けて、他人の臓器を移植したり、人工呼吸器を装着してチューブ状態し、死期が近づいている事を秘匿する。③ 自己判断能力が存在している段階で、自らの意志で寿命(63歳)を悟り、丁寧に人世を紡いできた人間(クラブ)として、尊厳を最期まで守り、死(解散)を選択する。

個人的には自己判断で行われるもの全ては、上記三点とも正解と考えています。また当クラブはCS活動(うたごえサロン)が、あれだけ盛況であったのに、なぜ今回、「尊厳」解散に至ったのかと、各方面より照会を受ける中、以下 Archive を再載しておきます。

[ 峰 毅 記 ]

## 「CSとEMCに大きな相関性はない」

CSを活性化すれば、EMCに大きく繋がると標榜する方がいれば、それは幻想かもしれません。ケースの一つとして、国内でも有数のCSプログラムに発展した当クラブが主宰している、すずらん会を考えた場合、開設17年間、開催総数197回、延べ参加者6,398人〔2020年8月：コロナ前〕と至っていますが、実際にEMCに繋がったのは僅か1人です。

つまり結果として加入率(相関率)は0.01%であり、新たなクラブメンバーを1人獲得する為には、6,398人の参加者が必要で、膨大なエネルギーを要したわけです。単純な計算をすればCSを通して10人のメンバーを獲得するには、およそ64,000人(NHKホール約18個分)の参加者が必要となります。これを実現するには、八百万の神が必要となります。

なぜCSがEMCに繋がらないのか、CSの現場で考えを進めていくと、「参加」と「運営」という2つの、重要なキーワードにつき当たります。つまりプログラムに来ての方をよく見ていると、CSプログラムに「参加者」として好きな時に来て、ただ活動に参加したい方と、CS活動の「運営者」として、ワイズに入り活動したいと考える方の2層構造になっていて、後者の絶対数が圧倒的に少ないという事です。

つまり前者の「参加者」にとり廉価で参加できる、すずらん会(月300円・年3,600円)などのCSプログラムには来るけど、メンバーとなり当クラブに加入するのであれば、献金別の月5,000円、年60,000円(国民年金の1ヶ月分)を支払う事になります。「運営者」として様々な義務を伴うクラブ加入は、ただ顔なじみの方と会い、プログラムを楽しみたいと考えている方にとり、敢えてクラブに入る事は対費用効果が釣合いません。これでは魅力的なCSを展開して、CSプログラムの参加者は大いに増えても、EMCへと繋がらない訳です。やはり明確にCSとEMCの切り分けをする事が、必要かもしれません。

ワイズが衰退している中、高齢化が進むほど居場所を求め団体に所属したいという、潜在的なニーズは地域に確実にあり、廉価の月300円程度で運営されている、市井の地域クラブは着実に会員数を年々伸ばしている(区老連：4年間で累計308人増員)事も、上記と深く関連しています。

組織運営を行う上で、未来予測と実践方策は両輪です。部としての「年齢層構成」、またクラブに登録はされているけど、実は例会には顔を出していない「虚数人数」を差し引いた、未だ東新部として算出した事のない(したくない?)、きちんと活動している「実態人数」を勘案した場合、現行のままでは構造的に「東新部は5年以内に、組織的な臨界点を迎える」でしょう。またその流れは年を経るごとに加速化しています。但し「為せば成る」と信じている方を、否定するものではありません。